

# 古きを温ね、新しきに繋ぐ

東日本大震災以降、真の「持続可能な循環型社会」を求める声日々大きくなっています。

さまざまな目新しい提案を耳にしますが、わたしたちはもっと身近なところにそのヒントがあるように思います。それは何か。先人の培ってきた暮らしです。今回の民家フォーラムでは、先人たちの植物素材の活かし方に学び、これからを考えるきっかけにしたいと考えています。

佐賀県鹿島市は、東に有明海、西に多良岳山系と山海に恵まれた地域。「酒蔵通り」は、重要伝統的建造物群保存地区に選定され、ヨシ葺き民家なども残っています。「古き」暮らしが今も息づくこの地で、これからの暮らし方を考えてみませんか？

## 第15回 民家フォーラム 2012 in 佐賀

11月23日  
(金・祝)

会場：エイブルホール  
佐賀県鹿島市納富分 2700-1  
生涯学習センター・エイブル内



佐藤弘氏

西日本新聞社編集委員。1961年福岡県生まれ。中学時代、有吉佐和子の「複合汚染」を読み、ふるさとの野山がおかされていくわけを知る。百姓を志し、東京農大農業拓殖学科に進学するも、深遠なる「農」の世界に触れ、実践者となることを断念。側面から支援する側に回るうと西日本新聞社に入社。システム開発部、日田支局、筑豊総局、経済部などを経て、現在、編集企画委員会として長期企画「食卓の向こう側」を担当。

### シンポジウム～住まいと森の間にあるもの～

- 13:30- 開会、民家再生奨励賞表彰式
- 14:30- 新川・田籠地区（福岡県うきは市）重伝建地区選定の経緯報告
- 15:00- 基調講演「住まいの向こう側」佐藤弘氏  
トークライブ  
三職人問答「わたしの道～伝統技術に魅せられて～」  
三職人：杉岡世邦氏、北島智美氏、池尾拓氏  
聞き手：佐藤弘氏
- 17:00 閉会

◎参加費 1,000円



杉岡世邦氏 印刷会社の営業職を経て、家業の製材業、林業に従事。西日本新聞で「木挽棟梁のモノサシ」を連載。木造建築の魅力を発信。



北島智美氏 鹿島で設計業務の傍ら、茅葺き職人を経験。現在福岡県柳川市にて一級建築士として従事。JMRA九州・沖縄地区運営委員長。



池尾拓氏 九州大学で建築を学ぶも念願の大工の世界に飛び込む。6年間の修業を経て2010年独立。全国大工志の会代表。一級建築士。



11月24日  
(土)

### 肥前浜宿・民家祭り

重要伝統的建造物群保存地区に選定されている肥前浜宿には、土蔵造りや茅葺きの町家が建ちならび、生活感が漂う魅力的な町並みが残っています。この地区の酒蔵通りを中心に、実演、体感型イベントを開催します。

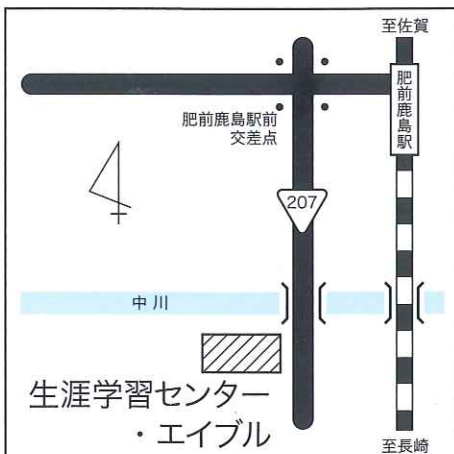
#### □浜宿ガイドツアー

(協力 NPO 肥前浜宿水とまちなみの会)  
水路沿いに茅葺きの町家が並ぶ漁村集落「南舟津」を、地元ガイドによる案内で見学します。

◎参加費 1,000円

#### □実演、展示、催し

地産地消マーケット／伝統木構造がわかる模型展示／大工集結！仕口、継手製作実演／曳家実演／棟上げ実演／木の体験広場 他



会場案内  
JR肥前鹿島駅より約7キロ、徒歩十五分

### 参加申込書

ファクスまたは郵便にてお申し込みのうえ、郵便振替口座 (00190-0-396443 日本民家再生協会) に参加費をお払いください。

氏名	会員番号
(〒 - )	
住所	
E-mail	携帯電話
電話	参加費 (該当する□に✓を)
FAX	<input type="checkbox"/> シンポジウム 1,000円 <input type="checkbox"/> 浜宿ガイドツアー 1,000円 合計 円